

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆7～9月の需要不足2兆円に縮小 GDP改定反映

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す「需給ギャップ」について、7～9月期にマイナス0.4%だったとの推計を発表。需要不足は5四半期連続で、金額にすると年換算で2兆円程度の需要不足となる。改定前の推計値は年換算3兆円程度(マイナス0.5%)。経済全体の需要と潜在的な供給力との差を表す。

◆個人向け国債発行5年ぶり高水準 金利0.71%に上昇

・1万円単位の小口から買える「個人向け国債」の発行額の前年度超えが視野に入ってきた。2024年4～12月の発行額は3兆2358億円と前年同期(2兆5931億円)を2割強上回った。すでに23年度の95%に達し、同期間では19年4～12月(3兆7461億円)以来の高水準。「金利ある世界」の到来を受けて需要が高まっている。

◆家計の金融資産、8四半期ぶりに減少 9月末2179兆円

・日銀が発表した2024年7～9月期の資金循環統計(速報)によると、9月末時点の家計の金融資産残高は6月末に比べて1.5%減の2179兆円。前四半期末からの減少は8四半期ぶり。株式相場が下落したことや、円高が進行し外貨資産の円換算額が低下した影響が響いた。現預金は前年同月末比0.3%増の1116兆円。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆政府、育成就労巡り有識者会議 27年導入へ詳細設計

・政府は外国人材との共生に関する関係閣僚会議を首相官邸で開き、「技能実習」に代わる外国人材受け入れ制度「育成就労」の2027年中のスタートに向け、有識者会議の設置を決めた。人権侵害の温床と批判された技能実習の轍(てつ)を踏まないよう専門家の知見を詳細な制度設計に反映させたい考え。

◆新幹線の防音壁に「曲がる太陽光電池」 JR東海と積水化学

・JR東海と積水化学工業は曲がるほど薄い新型太陽電池「ペロブスカイト」を搭載した東海道新幹線の防音壁を共同開発すると発表。すでに試作品を開発しており、2025年1月からJR東海の研究施設で実用化に向けて実証実験を始める。発電した電力は新幹線の駅で電灯などの活用を見込む。

◆11月貿易統計、半導体製造装置の輸出伸びる 赤字は縮小

・財務省が発表した11月の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1176億円の赤字。赤字は5カ月連続となった。半導体の製造装置が輸出額を押し上げ、赤字幅は前年同月比で85.5%縮小。輸出額は前年同月比3.8%増の9兆1523億円。11月としては比較可能な1979年以降で最高額となった。

《 注目商品 》

■パナソニック、9人分の食器が洗える45cm幅・前開きの食洗機

・大容量とコンパクトを両立させた幅45cmの「ビルトイン食器洗い乾燥機フロントオープンタイプ(NP-45EF1W)」を2月に発売。スライド式3段カゴにより、マイボトルや弁当箱、小物類を含め、約9人分の食器・調理器具をまとめて洗浄。ストリーム除菌洗浄により洗浄と除菌を同時に行う。



■パナソニック、ななめドラム洗濯乾燥機SDシリーズ

・省スペースで設置可能な、ドラム式洗濯乾燥機SDシリーズ2タイプを2025年1月上旬に発売。「液体洗剤・柔軟剤自動投入(2タンク)」と「スマホで洗濯」を搭載。外出先からスマートフォンで洗濯を開始できたり、洗濯状況の確認ができる。



■ノーリツ、ガスコンロ「Mikke(ミッケ)」 「Fami(ファミ)」

・手入れしやすいガラストップを備え、使いやすさと手頃な価格を両立させたコンロ「Famiシリーズ」を刷新し、グリルに無水両面焼、オートグリル機能を搭載したモデル「Mikke」、無水両面焼を搭載したモデル「Fami」の2種を展開。トッププレートは「つやめきガラス」を採用。

